

酪農とちぎ



暖冬が続くなか冬の訪れは遅れ気味ですが、山間部では朝晩の冷え込みが厳しく、木々の装いも冬の到来を告げています。長期予報では、今年も暖冬傾向にある反面、例年より降雪量は多いと予報されていますので、施設の点検を実施し冬の災害にお備え下さい。

皆様のご協力により盛会に開催された「ファームフェスタ2005」…全国に元気な本県酪農をPRでき、消費者には酪農への理解を得られたことは大きな収穫でした。今後も牛乳・乳製品が「安全・安心」で優れた食品であることを強くアピールしながら、消費拡大運動を展開しましょう。



那須高原支所・CS新設 とちぎ全共支援

今年の組合活動を顧みる

今年も数々のニュース・出来事を残し終わろうとしています。ふと顧みるだけでも、スマトラ沖地震に続く九州北部地震・平成の大合併・個人情報保護法施行・愛知万博・交通事故・非行犯罪・原油高騰・総選挙・談合入札・とちぎ全共・天皇家の婚儀・鳥インフルエンザ・耐震強度偽装等々。

酪農業界は、脱脂粉乳の過剰在庫を抱えてスタートしましたが、



盛況に開催された「ファームフェスタ2005」

好天による飲用消費増の期待も、依然消費低迷が続き、新たにバタ

ーの在庫過剰問題が発生しました。

肥育素牛・肉用牛等の副産品市況は、米国産牛肉の輸入停止による国内産需要増により、かなり回復基調に推移しましたが、原油高の影響をうけ、燃料・生産資材等の値上げとなり、生産コスト増が余儀なくされました。

このような情勢下、第十二回全日本ホルスタイン共進会・第四回全日本ジャージー共進会が壬生町において開催されたことは記念すべきイベントでありました。

以下組合の一年を振り返ってみます。

一・役員改選

通常総代会において役員改選が行われ、新役員選出に続く理事会において、三名の常勤体制（前田忠利組合長、菊池一郎・相馬俊市副組合長）となる。

二・総代選挙

任期満了にともなう総代選挙を

行ったが、各地酪農組合より推薦された候補者以外の届けがなく、無投票により一九〇名の新総代が選出された。

三・機構改革

効率的運営とCS閉所により、新年度から四部八課三支所制（経営監査室の廃止、生乳販売部と市乳販売部の統合、購買部及び診療課の新設）の機構改革とともに人事異動を行った。

四・那須高原支所・CS竣工

施設合理化計画の第一弾として昨年度より新設を進めて来た、那須高原支所及びCSが完成し四・六月より稼働、旧西那須野CSと旧那須高原支所・CSを閉所した。

五・生産現場の環境美化

支所活動推進協議会・地域酪農組合が中心となり、組合員各戸の巡回調査、花卉の苗を配布し、生産現場の環境整備と美化を啓蒙した。

六・「那須だいきすき牛乳500ml」新発売

市乳販売は、消費の低迷・低価格競争等大変厳しい市場であるが、七月より、若年層・少家族向けに「那須だいきすき牛乳500ml」を新発売した。

七・配合飼料コンテナ直送開始

大量輸送のメリットと効率的配送により安価供給を図るため、配合飼料のコンテナ直送（二十トン）を始めた。

八・酪農まつり

恒例行事のひとつ「第四回酪農まつり」を那須塩原市の県酪農試験場にて開催、共進会と多彩なイベントに二、三〇〇人が来場し親睦と交流を深めた。

九・とちぎ全共支援

五年に一度の乳牛祭典「とちぎ全共」が先月大盛況裡に開催され、共進会においても本県は健闘し好成績を収めた。会期中、全国各地より六九万人が訪れ、「酪農王国とちぎ」を多いにPR出来た。組合よりも、述べ一八六名の職員が出役し支援・協力した。

十・全国酪農家五五〇名が集合し、自民党本部において全国大会が開催され、「牛乳・乳製品の輸入拡大反対」「牛乳消費拡大」等を決議、国会議員・農水省等への要請運動を行った。本組合より、役員二三名が参加した。





「とちぎファームフェスタ2005」が十一月三了六日、皆さんのご協力のもと、盛況裡に開催されました。
 メインとなる共進会会場には連日沢山の人が集まり、全国から集まった選りすぐりの牛が競い合いました。

とちぎファーム
 フェスタ
 盛会裡に開催

第12回全日本ホルスタイン共進会及び第4回全日本ジャージー共進会栃木大会の成績

(ホルスタイン種第1部～第12部)

出品部別	賞	出品牛名号	出品者名	市町村	所属
1	1等賞	グリーンスター コラ ダーハム	臼井 勉	那須塩原市	酪農とちぎ
	2等賞	プラントツリー AJ インテ ダーハム	植木 靖	今市市	栃酪
	2等賞	コバリ エミリア エレガンス ET	小針 勤	那須塩原市	酪農とちぎ
2	2等賞	マウンテンジャム ラストワン エアロ インテグリティー	小松 俊介	那須町	酪農とちぎ
	2等賞	クイッチ マダム キット ロイ	山本 修	矢板市	酪農とちぎ
	2等賞	テーブルランド ロイ フェーリー	菊地 次男	那須塩原市	栃酪
3	1等賞	プラントツリー AB ダーハム	鹿沼農業高等学校	鹿沼市	栃酪
	1等賞	クイッチ マダム ジャベラー ランド	菊池 善也	那須烏山市	酪農とちぎ
4	優等賞	リージエント ドラマチック チャンピオン	和田 泰	那須塩原市	酪農とちぎ
	1等賞	タクヨウ エランド チャンピオン	那須拓陽高等学校	那須塩原市	酪農とちぎ
	2等賞	レインボーファーム プロGRESS マック ダイナ	大沼 辰徳	那須塩原市	栃酪
5	2等賞	スノーライト スウィート クルーズ	和泉 正行	那須塩原市	酪農とちぎ
	2等賞	ウイング マドキャツプ チャンピオン ホープ	羽石 智昭	茂木町	酪農とちぎ
6	1等賞	タクヨウ ベリン インテグ チャンピオン	那須拓陽高等学校	那須塩原市	酪農とちぎ
	2等賞	LWLF プリンセス アディー チャン	永森 洋一	那須塩原市	栃酪
	2等賞	プラントツリー ABE アウトサイド	植木 靖	今市市	栃酪
7	1等賞	コージー ロング ロイアーロン	大滝 信夫	市貝町	酪農とちぎ
	1等賞	フリーフライト ミックス クスター	石川 正勝	那須町	酪農とちぎ
	1等賞	クイーン メーブル テツシー ジェット ET	人見 次男	那須塩原市	酪農とちぎ
8	優等賞	グリーン エバー ウォーク ジャーナリスト	人見二三夫	那須塩原市	酪農とちぎ
	優等賞	リバーファーム エステイメイト ダーハム クツキー	川田 佳男	宇都宮市	酪農とちぎ
	2等賞	スノーライト R アイーン ET	眞嶋 大輔	那須塩原市	栃酪
	2等賞	ケーアイレディ ホームステッド ダーハム ナイト	今 耕一	那須町	酪農とちぎ
9	1等賞	ピツクマウンティン ゴールド ダーハム	中山 智之	那須烏山市	酪農とちぎ
	2等賞	ウエルシー ディーン ルーベンス ET	ウエルシーファーム	那須町	北那須
	2等賞	シンフォニア ベツスパーク アンコール	物井 昭夫	さくら市	酪農とちぎ
10	優等賞	コマバファーム ハイポイント インテグリティ	駒場 久	宇都宮市	酪農とちぎ
	1等賞	スマ エコーホルム アイガー	清水 時雄	那須町	酪農とちぎ
	1等賞	コバリ クロシルド ダーハム レイナ	小針 勤	那須塩原市	酪農とちぎ
11	優等賞	LWL ヒンベル ランツ	永森 洋一	那須塩原市	栃酪
	1等賞	エスペランサ レブロン レイジー ファースト ダーハム ET	中山 真介	那須烏山市	酪農とちぎ
	2等賞	リージエント リーダー キム	和田 泰	那須塩原市	酪農とちぎ
12	優等賞	192 タカノハシ ミックス アストロ	鷹箸 稔	今市市	酪農とちぎ
	1等賞	ナス プレリー ブラック ジュラー	佐久間隼人	那須町	酪農とちぎ

(ジャージー種第1部～第4部)

出品部別	賞	出品牛名号	出品者名	市町村	所属
1	2等賞	イマイファーム サンダー ブライドン ET	今井 武	那須塩原市	栃酪
2	2等賞	オカダファーム プリテイ ベヨンジユン	岡田 純行	芳賀町	酪農とちぎ
3	1等賞	オカ エッチ カウンシラー レスター	臼井 勉	那須塩原市	酪農とちぎ
4	優等賞	プレイメア ジュード エース	斉藤 章	那須町	酪農とちぎ





ました。結果は本県において前頁のような好成績を収め、中でも本組合より川田佳男さんが準名誉賞に輝きました。日頃からの改良の成果が評価されましたことを心よりお慶び申し上げます。

ファームフェスタの総入場者数



は、見込みを大きく上回るおよそ六十九万人を迎えました。ミルクの国へようこそ広場には花が沢山飾られ、大きなホルスタイン模様の門が入場者を歓迎しました。ミルクの国ゾーン・学びの国ゾーン・まんぶくの国ゾーン・わんぱくの国ゾーンそれぞれのイベント・展示・出店など、大変な賑わいとなりましたが、広い敷地面積やブースの数の多さで分散され、あまり狭苦しく感じることもなかったようです。県外からも多くの人が訪れたことで、栃木県が全国第二位の酪農県であることをアピール出来たことと感じます。

今回は五年後の二〇一〇年、北海道での開催となります。

「WTO輸入拡大反対、牛乳需要拡大」 全国酪農民代表者大会開催

日本酪農政治連盟による全国酪農民代表者大会が、十一月九日自由民主党本部八階ホール（東京永田町）にて五百五十人が参加し、盛大に開催された。



今大会は、WTO農業交渉における牛乳・乳製品の輸入拡大阻止

と、牛乳の消費拡大を訴えようと開催されたもので、主催者挨拶に始まり、来賓の農林関係議員に代表要請を行った。来賓には、三浦一水農水副大臣始め、谷津義男自民党酪政会会長のほか多くの酪政会議員の出席があり、本県の西川公也酪政会事務局長（自民党農林部会長）も挨拶し、激励と支援の約束を頂き大会を盛り上げた。

続いて要請文を朗読し満場の拍手で決議し、出席者全員によるスローガン斉唱・ガンバロー三唱を行い、大手乳業メーカー等への要請に向かった。

本組合からは役職員二十三名が参加し、地元国會議員に強い要請運動を行った。

前田組合長も日本酪農政治連盟副委員長として、中央酪農会議へ出向き、「WTO輸入拡大反対、牛乳需要拡大」を強く訴えた。



東西南北

那須高原支所

女性会那須支部研修

十一月十六日、女性会那須支部は沖繩研修を行いました。

日程が二泊三日と酪農家にとっては長期にもかかわらず、三十名の参加者がありました。現地研修は市内観光を行なった後、松清嗣さん（おっぱ乳業）の案内で「道の駅・許田（きよた）」を見学しました。



松さんは本県那須町で酪農業を営んでいましたが、沖繩の今帰仁（なきじん）村へ移住し、酪農を継続した後、乳製品製造会社に転業し現在に至っております。スケジュールの都合で、おっぱ

乳業」の工場見学は出来ませんでした。原乳の確保方法、牛乳・アイスなどの製品製造、道の駅・ホームページを利用した販売など、製造から販売までの行程を、苦労を交えながら説明を頂きました。

参加者には、松さんと馴染みの方もおり、積もる話も沢山あった様子で別れ際に名残惜しさを感じました。昔の仲間が遠く離れた地で頑張っている姿に共感を覚え、有意義な研修会となりました。

宇都宮支所

女性会那須南支部

『くつろぎのコンサート』

とかく世知辛い忙しい世の中、

ひととき
のしあわせを求め
『くつろぎのコンサート』
と銘打って開催しました。
キーボ



ード奏者に市村弘道氏、ギター奏者に市村伸二氏（兄弟）（那須塩原市）を招き、一部は「演奏」、二部は「みんなで歌おう」でのプログラム構成でしたが、演奏を聞いている時の皆さんは夢心地の様な顔をしていました。

すべてを忘れ清浄無垢な子供に返ったみたいです。二部での日本の歌、愛唱歌合唱では、二十二人の美声が会場いっぱいに高らかと響き渡り、これまた、若き日に戻ったの合唱で解散となりました。皆さんも出張コンサートはいかがでしょうか。

栃木県南支所

『耕畜連携による粗飼料生産』

耕畜連携によるホールクロップサイレージの利用について芳賀町の事例を紹介します。

水田地帯の芳賀町では、耕種農家（九戸）と酪農家（五戸）が連携し、飼料稲の栽培、給与を行っていきます。実施するに当たって、三年前から試験ほ場で飼料稲の栽培を行い、生育状況や収量について検討し、また生産されたホールクロップサ

イレージを乳牛に給与し嗜好性や品質の調査を行ってきました。

その結果、作付面積は年々拡大し、今年度は約二十ヘクタールで作付けされ、十月上旬に収穫が行われました。収穫は、補助事業で導入した専用の機械で行い、飼料稲の栽培から収穫については芳賀町飼料稲生産組合を組織する耕種農家八戸が行い、ロールされた二千個程のラッピング及び、給与を酪農家が行っています。できたサイレージは嗜好性、品質ともに良好で、産地づくり対策、耕畜連携推進対策等の施策を活用することで、生産コストを低く抑えることができ、酪農家としては安価な飼料を利用できます。また、堆肥化した糞尿を作付けほ場に還元することで資源循環型農業の推進を図っています。

原油価格の高騰をはじめ情勢の不安定により、輸入粗飼料の価格が上昇傾向にある中で、飼料稲の給与はコスト低減のための選択肢のひとつと言えます。今後さらなる低コスト化と品質の向上が進められ、生産と利用が拡大することを期待します。



部課だより

生乳販売課

十月度生産量前年を上まわる

十月度の生乳生産量は、一七、五三七トン（前年比一〇〇・五％、計画比一〇〇・三％）と今年度初めて前年を上まわり、生産量の回復の兆しが見えてきました。

支所別にみると、那須高原支所においては前年比一〇〇・三％、宇都宮支所一〇〇・五％、県南支所一〇一・〇％と全支所で前年を上まわる実績となりました。

全国の生乳生産動向については、十月度北海道が前年比一〇三・七％、全国では一〇一・九％で、累計では九九・六％となりました。関東においては前年比九九・八％で累計では九八・三％と前年に比べ減少しているものの徐々に回復傾向が見受けられます。

用途別では、飲用牛乳向けは一・一％の減と飲用需要の回復には至っておりません。

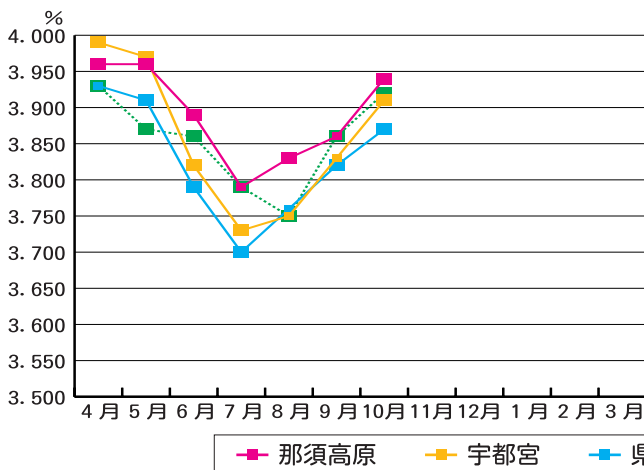
特定乳製品向けについては三七・八％と前年と同じ発生になりました。

組合における乳質成績は、脂肪率が前年同様三・八五％、無脂固形分率は前年をやや下回る八・七七％となりました。細胞数については前年値を下回る（一三・七万）好成绩となりました。

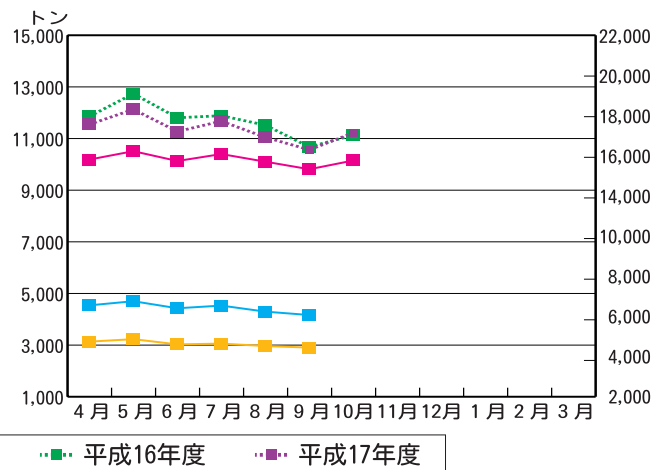
十月迄の乳量及び乳質成績は下記のとおりです。

また、酪とち生乳販売発三五号にてお知らせしました、関東生乳販連の決定に基づき「乳製品消費拡大運動」を実施致します。過剰であるバター・脱脂粉乳の在庫解消と、生産者自らの消費拡大を共通認識するために、酪農家及び関係団体役員を対象に来年一月下旬より実施されます。皆様には、ご理解とご協力願います。

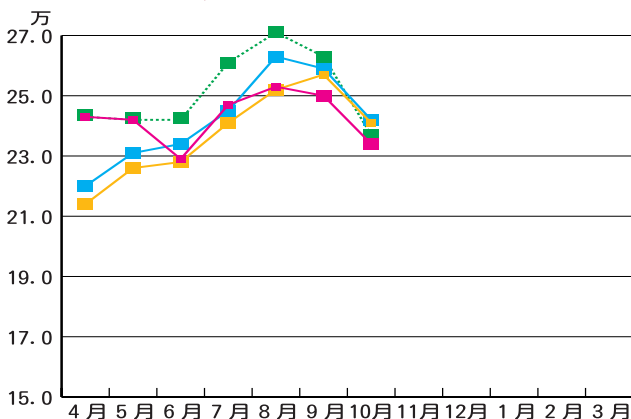
◆ 脂肪率の推移



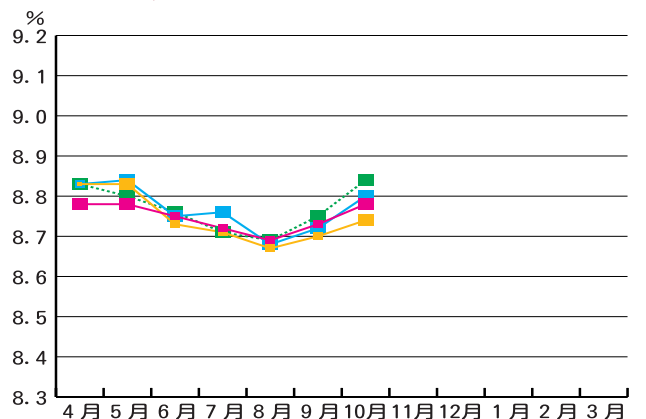
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



購買部

粗飼料高値安定

平成十七年の乾牧草価格を振り返りますと、全体的に価格の上げ基調が続き非常に厳しい状況となりました。

要因といたしましては、外国為替相場（ドル/円）が、平成十七年一月時点で約一〇三円台でしたが、十二月初旬においては一二〇円台をうかがう程の円安相場になっており、それに加え米国での酪農意欲の高まりによる国内需要の増加、原油価格の高騰も重なり、市場価格が高騰しております。

今後も状況に大きな変化はなく、しばらくはこの情勢が続くと推測されますが、現地の最新情報を入力し価格の低減を図り、安定的な物量の確保に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。詳細については、一月の飼料情勢にてご報告致します。

酪農部

土上平放牧場の放牧成績

土上平放牧場は県酪連から委託を受けて二年目となり、一三八頭放牧し、終牧まで事故も無く全頭無事下牧しました。

育成管理については、発情の同期化・定期検診・血液検査による栄養管理を基に配合飼料給与を増

土上平放牧場放牧成績

H17.11.18

		平成16年度	平成17年度	差
入牧頭数(頭)		147	138	9
年間延べ頭数(頭)		24,270	23,877	393
受胎率(%)	人工授精	70.8(51/72)	85.9(55/64)	15.1
	受精卵移植	0	66.6(8/12)	66.8
1日増体量		411	663	252
配合飼料給与量	1頭当りの配合飼料給与量(g)	9,140	35,690	26,550
	1頭当り(g)	376	1,500	1,124

給した結果、期間中の疾病や事故の発生もなく、順調な生育成績を収めました。

授精については発情同期化により、人工授精の受胎率は八五・九%を達成し、本年より事業団の協力を得て行った体外受精卵移植の受胎率は六六・六%と、高受胎率を収めました。

牧草草地の管理については、牧区毎に全面的草地刈りと追肥を行い、肥培管理に努めた結果、台風による水源の破損はあったものの、草地の表土流出等の発生もなく、良好な草地状況です。

以上の結果、別表のような成果を収めることが出来ました。また、終牧にあたり利用者から「栄養状態がよく、受胎している牛が多い。」との評価を頂きました。

乳牛にとって育成期はとて大切な時期で、適切な栄養摂取と体力をつくるのが大切です。是非来年は一頭でも多く、土上平放牧場で仔牛を育てましょう。

家畜市場成績

平成17年11月

(単位: 円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野	ホルス雄	170	-	66,150	680	36,838
	F1雄	79	-	215,250	106,050	161,062
	F1雌	83	-	134,400	9,450	89,528
館林	ホルス雄	5	73	55,000	36,000	48,400
	F1雄	8	71	186,000	122,000	155,250
	F1雌	7	72	139,000	82,000	116,143

11月ホクレン初妊牛市場成績

(単位: 頭, 千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
十勝	11月8日	426	457	17	46	117	152	83	11
釧路	11月9日	328	462	15	32	89	114	60	18
根室	11月10日	398	468	9	23	124	144	76	22
北見	11月11日	512	467	3	53	149	195	82	30
豊富	11月17日	405	473	3	30	91	191	68	22
根室	11月24日	385	467	4	21	114	154	83	9
十勝	11月25日	593	491	8	44	74	206	189	72
合計		3,047	471	59	249	758	1,156	641	184
前月		2,878	473	59	219	687	1,037	661	215
前年同月		3,318	478	64	201	672	1,384	736	261



理事会だより

十月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 十月分生産者支払乳価について
- (三) 従たる事務所廃止について
- (四) 総代選挙結果について

HALF・タイム



師走を迎え、にわか慌しくなってきた。新聞の折込みチラシの数も増える。街中は歳末商戦で久しぶりに活気がみなぎる。農作業も好天が続ぎ、順調に片付いていることでしょう。朝夕の寒さも日増しに感じるが、早くも二十二日冬至到来となる。

今年もいろんなスポーツが楽しませてくれた。なんと言ってもサッカーのW杯出場決定が朗報であった。苦難末の快挙に国内が沸いた。低迷のプロ野球界もセ・リーグ交流試合を導入して人気回復を図ったが、今ひとつのなかロツテが交流戦・パリーグ・日本シリーズ・アジアシリーズの四冠制覇で締めくくった。

夏の風物詩のひとつ高校野球、

協議事項

- (一) 九月度及び上半期事業実績について
- (二) 集乳車・送乳車のリース契約について
- (三) 利用済紙袋の処理について

十一月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 十一月分生産者支払乳価に

北の大地は二連覇快挙に酔ったが、相次いだ不祥事・他県留学の課題等を残した。

古くから国技として親しまれた大相撲も、外国勢に圧倒され士気消沈、一層の踏ん張りに期待する。今年盛り上げたのは女子ゴルフとバレー界、若手新人のはつらつプレーが多くのファンを増幅した。

年々、増加する鳥獣被害、河川の濁水期、瀬に陣取り溯上する稚魚たちを一口にしてしまふカワウ、丹精こめて栽培した野菜・果樹・水田等を一瞬にして襲撃するカラス・白鼻心・イノシシの群れ、民家のベランダに居候するサル軍団等々に生活が脅かされる。旺盛な繁殖力に追いつかぬ防除策、何とかならないものか。

最近、耳にする「ウォームヒズ」、格好良く重ね着して体を暖めることのようにだが、真意は、厚着して

ついて

- (三) 第十二回全日本ホルスタイン共進会及び第四回全日本ジャージー共進会栃木大会の結果について

協議事項

- (一) 十月度事業実績について
- (二) 組合購買利用推進研修会の実施について
- (三) 諸規定の一部改正について
- (四) 年末手当支給について

室内の暖房温度を二十度に設定することにより、省エネ・二酸化炭素の削減を呼びかけている。夏の「クールビズ」の第二弾策としての呼びかけだが、経済効果は、早くも二二二八億円との試算もある。いずれにせよ、京都議定書の公約（排出ガス削減六％）実現に向け、一人ひとりが真剣に取り組まなければならぬ。

今や、「そばブーム」は着実に浸透している。そばには蛋白質・ビタミン類、カリウム・マグネシウム・鉄分などのミネラルや食物繊維のほか、毛細血管の透過性を高めて血圧を抑制する「ルチン」を含み、低カロリー食品として人気を高めている。昨年の本県そば生産量は一、二二〇トンと全国第五位にある。主産地の県西部や八溝地方は、休日ともなると「挽きたて・打ちたて・茹でたて」の味を求めにぎわっている。「年越しそば」も間近い。(Y)

パソコン一年生

年賀状印刷

今年も年賀状の季節が迫ってきました。年賀状を作る為にパソコンを買った方も居る事でしょう。パソコンのサポートセンターは、この時期プリンター関係の問合せが増えるそうです。全然使っていないのにインクが出ない。のような苦情があるらしいのですが、実はそれは使っていないからインクが乾燥してつまってしまっていることが多いようです。プリンター

によってはヘッドのクリーニングなどの機能がありますので、まずはそちらをお試しく下さい。他によくある質問は、「特殊な漢字が出ない」です。探しても無い場合は、最終的には外字エディタで似た漢字を編集して自分で作るしか無いのですが、少々高度なテクニクとなります。

また、今年も平成の大合併により住所が大幅に変わっています。手取り早いのは、最新のソフトに乗り換えることですが、郵便局のホームページには全国の市町村合併のスケジュールと住所が掲載されていますのでこれを利用する手もあります。件数が多いと大変な作業かもしれませんが、

